

平成26年度
補正予算の概要

(平成26年12月議決分)

1 一般会計 歳入歳出予算総括表(平成26年12月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 市税	14,600,907		14,600,907
2 地方譲与税	318,000		318,000
3 利子割交付金	31,000		31,000
4 配当割交付金	60,000		60,000
5 株式等譲渡所得割交付金	4,000		4,000
6 地方消費税交付金	1,060,000		1,060,000
7 ゴルフ場利用税交付金	59,000		59,000
8 自動車取得税交付金	29,000		29,000
9 地方特例交付金	57,015		57,015
10 地方交付税	5,007,317		5,007,317
11 交通安全対策特別交付金	16,000		16,000
12 分担金及び負担金	427,473		427,473
13 使用料及び手数料	225,448		225,448
14 国庫支出金	4,189,078	70,221	4,259,299
15 県支出金	2,043,588	36,478	2,080,066
16 財産収入	55,608		55,608
17 寄附金	217		217
18 繰入金	489,169	△ 3,209	485,960
19 繰越金	827,522		827,522
20 諸収入	1,437,117	4	1,437,121
21 市債	3,755,000	8,300	3,763,300
計	34,692,459	111,794	34,804,253

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 議会費	283,240	1,463	284,703
2 総務費	5,409,199	△ 135,485	5,273,714
3 民生費	11,825,213	167,888	11,993,101
4 衛生費	1,662,618	△ 2,490	1,660,128
5 農林水産業費	284,440	6	284,446
6 商工費	434,090	5,019	439,109
7 土木費	4,313,315	69,346	4,382,661
8 消防費	1,898,913	△ 27,110	1,871,803
9 教育費	3,784,508	33,157	3,817,665
10 災害復旧費	5		5
11 公債費	4,084,768		4,084,768
12 諸支出金	662,150		662,150
13 予備費	50,000		50,000
計	34,692,459	111,794	34,804,253

補正予算のポイント

今回の一般会計補正予算は、第4回定例議会(平成26年12月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ1億1,179万4千円を増額し、予算総額を348億425万3千円としました。

今回の補正予算の基本的な考え方は、①年度途中における状況の変化に対応するもの。②小・中学校の通学路整備事業。③公共施設等の案内看板の更新事業。④合併10周年記念事業。⑤平成27年4月1日から業務を行うため、事前に契約等の準備が必要となることから、債務負担行為の設定を行うもの。以上5つの考え方にに基づき補正を行いました。

以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

●人件費・・・2億3,992万6千円減(人事課)

人事院勧告及び決算を見込んだ現員現給の過不足調整、諸手当、共済費、退職手当特別負担金の調整を行います。特別会計分1,213万9千円減を合わせて、人件費全体では2億5,206万5千円の減となります。

●扶助費・・・1億2,349万1千円増(障害福祉課)

- ・障害児(者)及び付添人交通費 65万4千円増
年間利用件数見込 410件(29件増)、1件平均 10,725円(899円増)
- ・障害者自立支援給付費 7,600万円増
介護給付 397件(27件減)、訓練等給付 377件(97件増)
- ・補装具交付及び修理費 400万円増
申請件数 20件/月(前年 16件/月)
- ・地域生活支援事業 483万7千円増
日常生活用具給付 267万6千円増
移動支援 53万1千円増
日中一時支援 163万円増
- ・障害児施設給付費 3,800万円増
障害児通所給付費 312人(132人増)

●特別会計への繰出金・・・937万円増

- ・後期高齢者医療特別会計繰出金 1,313万5千円増(国保年金課)
平成25年度療養給付費市負担金の精算により増額します。

●小・中学校の通学路整備事業・・・5,047万円増(道路課)

- ・通学路の危険箇所を改良するための事業
稲向原(市道2759号線)・・・白山8丁目交差点から取手郵便局前までの歩道整備
873万8千円増

都市計画道路 3・4・3 号線(寺田工区)・・・歩道幅員狭小箇所の解消 4,173 万 2 千円増

●公共施設等の案内看板の更新事業・・・1,241 万 2 千円

・取手駅周辺の既設の全体マップや、小学校の統廃合による名称変更、公園、文化財、消防水利標識などの案内看板の更新を行います。

●合併 10 周年記念事業・・・60 万円(秘書課)

・平成 27 年 3 月 28 日に、取手市と藤代町の合併 10 周年の節目を迎えるため、写真展示会のほか記念イベントを開催します。

●震災等緊急雇用対応事業・・・417 万 4 千円増

事業期間:平成 27 年 3 月から平成 28 年 3 月(今回の補正は平成 27 年 3 月の 1 ヶ月分)

- ・保育所事務効率化事業 39 万円(子育て支援課)
- ・街路灯プレート表示整備事業 66 万 6 千円(管理課)
- ・道路施設維持補修事務事業 17 万 3 千円(管理課)
- ・公園利用促進事業 53 万 1 千円(水とみどりの課)
- ・観光促進 PR 事業 241 万 4 千円(産業振興課)

●債務負担行為の設定

平成 27 年 4 月 1 日から業務を行うため、事前の契約等の準備が必要となることから、46 件について追加し、2 件を変更する債務負担行為の設定を行います。

(主なもの)

- ・サイクルステーションとりで管理業務委託 限度額 3,372 万円(平成 27 年度まで)
- ・固定資産土地評価システム更新業務委託 限度額 1 億 1,290 万円(平成 29 年度まで)
- ・給食調理業務委託料(平成 28 年度まで)
 - 保育所(白山保育所、永山保育所、中央保育所) 限度額 9,070 万円
 - 小学校(取手小、白山小、寺原小、戸頭小) 限度額 1 億 3,881 万円
 - 中学校(取手二中) 限度額 3,481 万円

【歳入】

●国・県支出金・・・1 億 669 万 9 千円増

(1)障害者自立支援補装具費・障害者自立支援給付費・障害児施設給付費・地域生活支援事業費の扶助費の増加に伴う、国・県負担金を増額します(補助率 4 分の 3)(障害福祉課)

- ・障害者自立支援補装具費負担金 300 万円増
- ・障害者自立支援給付費負担金 5,700 万円増
- ・障害児施設給付費負担金 2,850 万円増
- ・地域生活支援事業補助金 375 万 6 千円増

(2)社会保障・税番号制度システム整備費補助金 297 万 4 千円増(情報管理課)

「社会保障・税番号制度」を導入するため、平成 26 年度から平成 28 年度にかけて必要となる中間サーバー整備負担金及び生活保護システム改修に対する補助金を増額します。

(国 10 分の 10 又は 3 分の 2)

(3) 震災等緊急雇用対応事業補助金 417 万円増(産業振興課)

被災地(災害救助法適用地域)において、被災求職者の安定的な雇用機会を創出すること及び活躍できる雇用機会を創出することを目的とした事業への補助金を増額します。(県 10 分の 10)

●市債・・・830 万円増(財政課)

・稲向原(市道 2759 号線)通学路整備事業の実施に伴い市債を増額します。

合併特例債 830 万円増

●基金繰入金・・・320 万 9 千円減

・公共施設整備基金繰入金 1,600 万円増(管財課)

公民館(相馬南、高須、井野)の修繕に 1,220 万円、かたらいの郷エアコン改修工事に 380 万円を充当します。

・財政調整基金繰入金 1,920 万 9 千円減(財政課)

財源調整のため、財政調整基金繰入金を減額します。

※12 月補正後の基金残高は、財政調整基金で 30 億 1,700 万 7 千円、公共施設整備基金で 4 億 9,425 万 5 千円となります。

2 取手駅西口都市整備事業特別会計 歳入歳出予算総括表(平成26年12月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 使用料及び手数料	9		9
2 国庫支出金	427,900		427,900
3 国庫支出金	57,560		57,560
4 繰入金	475,061	△ 10,424	464,637
5 繰越金	16,098		16,098
6 諸収入	3,581		3,581
7 市債	595,700		595,700
計	1,575,909	△ 10,424	1,565,485

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 事業費	1,319,821	△ 10,424	1,309,397
2 公債費	255,588		255,588
3 予備費	500		500
計	1,575,909	△ 10,424	1,565,485

補正予算のポイント

今回の取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算は、第4回定例議会(平成26年12月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ1,042万4千円を減額し、予算総額を15億6,548万5千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 一般職人件費…1,050万円減(人事課)
人事院勧告及び決算を見込んだ現員現給の調整をします。
- (仮称)ウェルネスプラザ整備事業に要する経費…7万6千円増(中心市街地整備課)
(仮称)ウェルネスプラザ指定管理者選定委員報酬、費用弁償

【歳入】

- 一般会計繰入金…1,042万4千円減(中心市街地整備課)
一般会計からの繰入金を減額します。

このほか、(仮称)ウェルネスプラザの館内に設置するデジタルサイネージ製作業務委託など2件について、債務負担行為を設定しました。

3 国民健康保険事業特別会計 歳入歳出予算総括表(平成26年12月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 国民健康保険税	3,142,360		3,142,360
2 使用料及び手数料	1,100		1,100
3 国庫支出金	2,225,404		2,225,404
4 療養給付費等交付金	760,892		760,892
5 前期高齢者交付金	3,404,558	455,440	3,859,998
6 県支出金	675,651		675,651
7 共同事業交付金	1,212,000		1,212,000
8 財産収入	80		80
9 繰入金	745,047	1,900	746,947
10 繰越金	738,400		738,400
11 諸収入	22,125		22,125
計	12,927,617	457,340	13,384,957

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	258,771	1,900	260,671
2 保険給付費	8,408,345	455,440	8,863,785
3 後期高齢者支援金等	1,866,873		1,866,873
4 前期高齢者納付金等	2,388		2,388
5 老人保健拠出金	101		101
6 介護納付金	709,204		709,204
7 共同事業拠出金	1,212,010		1,212,010
8 保健事業費	130,834		130,834
9 基金積立金	200,078		200,078
10 公債費	1,083		1,083
11 諸支出金	117,930		117,930
12 予備費	20,000		20,000
計	12,927,617	457,340	13,384,957

補正予算のポイント

今回の国民健康保険特別会計補正予算は、第4回定例議会(平成26年12月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ4億5,734万円を増額し、予算総額を133億8,495万7千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 一般職人件費…190万円増(人事課)
人事院勧告及び決算を見込んだ現員現給の調整をします。
- 保険給付費…4億5,544万円増(国保年金課)
一般被保険者療養給付費及び高額療養費の年間見込の不足分を増額します。

【歳入】

- 一般会計繰入金…190万円増(国保年金課)
一般職人件費の増により繰入金を増額します。
- 前期高齢者交付金…4億5,544万円増(国保年金課)
社会保険診療報酬支払基金から平成26年度の交付決定通知に伴い前期高齢者交付金を増額します。

このほか、コンビニエンスストアにおける国民健康保険税収納業務委託について、債務負担行為を追加設定しました。

4 後期高齢者医療特別会計 歳入歳出予算総括表(平成26年12月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 後期高齢者医療保険料	887,545		887,545
2 使用料及び手数料	120		120
3 繰入金	1,061,714	13,135	1,074,849
4 繰越金	10,031		10,031
5 諸収入	2,104		2,104
計	1,961,514	13,135	1,974,649

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	127,863	△ 957	126,906
2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,821,520	14,092	1,835,612
3 諸支出金	11,631		11,631
4 予備費	500		500
計	1,961,514	13,135	1,974,649

補正予算のポイント

今回の後期高齢者医療特別会計補正予算は、第4回定例議会(平成26年12月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ1,313万5千円を増額し、予算総額を19億7,464万9千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 一般職人件費…95万7千円減(人事課)
人事院勧告及び決算を見込んだ現員現給の調整をします。
- 後期高齢者医療広域連合医療給付費納付金…1,409万2千円増(国保年金課)
平成25年度療養給付費市負担金の確定により、広域連合への納付金を増額します。

【歳入】

- 一般会計繰入金…1,313万5千円増(国保年金課)
一般会計からの繰入金について、事務費等繰入金は95万7千円減額し、保険基盤安定対策費繰入金を1,409万2千円増額します。

5 介護保険特別会計 歳入歳出予算総括表(平成26年12月補正分)

(歳入) (単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 介護保険料	1,536,979		1,536,979
2 使用料及び手数料	121		121
3 国庫支出金	1,190,236	7,327	1,197,563
4 支払基金交付金	1,893,488	11,127	1,904,615
5 県支出金	973,222	4,623	977,845
6 財産収入	109		109
7 繰入金	1,033,291	2,019	1,035,310
8 繰越金	266,607		266,607
9 諸収入	482	12,533	13,015
計	6,894,535	37,629	6,932,164

(歳出) (単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	143,833	△ 700	143,133
2 保険給付費	6,492,661	38,372	6,531,033
3 地域支援事業費	107,672	△ 43	107,629
4 諸支出金	130,369		130,369
5 予備費	20,000		20,000
計	6,894,535	37,629	6,932,164

補正予算のポイント

今回の介護保険特別会計補正予算は、第4回定例議会(平成26年12月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ3,762万9千円を増額し、予算総額を69億3,216万4千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 介護予防サービス給付費・・・3,389万5千円増(高齢福祉課)
- 介護予防福祉用具購入給付費44万4千円増(高齢福祉課)
- 介護予防住宅改修給付費89万5千円増(高齢福祉課)
- 介護予防サービス計画給付費・・・313万8千円増(高齢福祉課)
- 配食サービス事業委託料・・・183万9千円増(高齢福祉課)
- 一般職人件費・・・258万2千円減(人事課)

人事院勧告及び決算を見込んだ現員現給の調整をします。

【歳入】

- 介護給付費国庫支出金・・・732万7千円増(高齢福祉課)
- 支払基金交付金・・・1,112万7千円増(高齢福祉課)
- 介護給付費県支出金・・・462万3千円増(高齢福祉課)
- 一般会計介護給付費繰入金・・・479万6千円増(高齢福祉課)
- 第三者行為に係る損害賠償金・・・1,253万3千円増(高齢福祉課)

介護予防サービス利用者の増による介護給付費の増加により、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、一般会計介護給付費繰入金が増額となります。

このほか、コンビニエンスストアにおける介護保険料収納業務委託など3件を追加し、1件を変更する債務負担行為を設定しました。

6 介護サービス特別会計 歳入歳出予算総括表(平成26年12月補正分)

(歳入) (単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 サービス収入	17,694	3,138	20,832
2 繰入金	1,742		1,742
3 繰越金	100		100
4 諸収入	13		13
計	19,549	3,138	22,687

(歳出) (単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 サービス事業費	19,449	3,138	22,587
2 予備費	100		100
計	19,549	3,138	22,687

補正予算のポイント

今回の介護サービス特別会計補正予算は、第4回定例議会(平成26年12月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ313万8千円を増額し、予算総額を2,268万7千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

●介護予防ケアプラン作成委託料…313万8千円増(高齢福祉課)

介護保険認定者(要支援1・2)のサービス利用の増加により、介護予防ケアプラン作成委託料を増額します。

【歳入】

●介護予防サービス計画費収入…313万8千円増(高齢福祉課)

介護保険認定者(要支援1・2)のサービス利用の増加により、介護予防サービス計画費収入を増額します。